

## 要支援妊婦の抽出を目的とした医療機関における「問診票を用いた情報の把握」および行政機関との連携方法の開発

- 研究分担者 松田 義雄（独立行政法人地域医療機能推進機構 三島総合病院）  
研究協力者 川口 晴菜（大阪府立母子保健総合医療センター産科）  
研究協力者 米山 万里枝（東京医療保健大学大学院医療保健学研究科）  
研究協力者 山本 智美（聖母病院看護部長）

ハイリスク母児（要支援家庭：社会的・精神的な支援が必要な妊婦や家庭）への早期介入を目的とした妊娠中からの支援方法について検討してきたこれまでの研究結果から、「ハイリスク母児を抽出し、妊娠中からの支援を行うためには、行政機関での母子健康手帳交付時の質問紙調査や面談だけでは不十分で、医療機関や行政機関双方が母の不安について聞き取り、連携支援することが重要である」と考えられた。

そして、以下のような具体的な連携方法を提案した。

- ・医療機関・行政機関双方で、妊婦への初回コンタクトの際にスクリーニングを行う。
- ・その後、妊婦との定期的なコンタクトがある医療機関が、妊婦健康診査の際に、初期・中期・後期・分娩直後・産後2週間健診・産後1か月健診のタイミングで助産師や看護師との面談・保健指導を実施し、その都度必要な症例を行政に連絡し、お互いの情報をフィードバックする。
- ・支援対象の決定は、行政機関・医療機関において、それぞれ一定の問診票およびチェックリストを使用し、スコア化およびカンファレンスで検討したうえで対象を絞り込む。
- ・連絡の手段としては、妊娠妊婦健康診査受診券を活用し、緊急度の高いものは、電話などを利用する。また、合同カンファレンスの開催を検討する。
- ・行政機関あるいは医療機関への情報提供については、基本的には本人の同意を得る。同意の得られない対象については、要保護児童対策協議会（要対協）の枠組みを利用し、「一旦要対協に挙げて医療機関・行政機関で情報共有し検討した後、支援の必要性を検討する」という方法もある。
- ・「看護師・保健師・助産師によってハイリスク母児の抽出が可能になる」ような教育プログラムを構築し、保健指導の充実に繋げる。

平成28年度から始まった研究班では、医療機関においてハイリスク母児を有効に抽出するツールの構築および妊娠中から行政機関との連携をスムーズにするツールを開発した。倫理審査を済ませたあと、いくつかのモデル地域で実践中であり、その有用性を検討する予定である。

開発したツールを全国に展開しその有用性がさらに確認されることで、「妊娠期から支援を必要とする妊婦が有効に抽出され、妊娠中から行政機関と共同して支援に当たることが可能になる」ことが示され、特に0歳、0か月の子供虐待、産褥期の母親の自殺や心中を減らすことができることが期待される。

### A. 研究目的

『こども虐待による死亡事例等の検証結果等について児童虐待による死亡事例について』<sup>1)</sup>によると、児童虐待による死亡事例は、生後間

もない子どもが多くを占めており、その背景に母親の育児不安、養育能力の低さや精神疾患、産後うつなど、妊娠産褥期の母親の問題が関与することが示されている。このため、平成23

年7月27日、妊娠・出産・育児期において、養育支援を特に必要とする家庭を早期に把握し、速やかに支援を開始するために保健・医療・福祉の連携体制を整備することが重要であるとする厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課長・母子保健課長連盟通知（雇児総発 0727 第4号・雇児母発 0727 第3号「妊娠・出産・育児期に養育支援を特に必要とする家庭に係る保健・医療・福祉の連携体制の整備について」）がなされた。すでに多くの自治体やいくつかの産科医療機関では、妊娠期から支援の必要な妊婦を抽出し継続的な支援を行うことで、将来の児童虐待が予防できると想定し、様々な体制づくりを行っている。

妊娠期から母児の支援を円滑に行うための方法を構築することを目標とした研究（『平成25～27年度厚生労働科学研究費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業研究』（山縣班）の分担研究<sup>2)</sup>）によって、行政機関で妊娠期からの支援の必要な妊婦の抽出について検証した。行政機関では、妊婦との関わりは、母子健康手帳交付時のみであることが多い。モデル地区における、妊婦健診届出時の行政機関での質問紙調査および保健師面談結果と乳幼児4ヶ月健診で継続支援必要例の照合から、行政機関で妊娠届出時に要支援母児の抽出率は46%であり、妊娠中に行政機関単独で要支援妊婦を抽出し、必要な支援を行うには限界があることが示された。また、母子健康手帳の交付時に問診票や保健師面談を施行していない市町村も存在する。そもそも、母子健康手帳の配布場所は利便性の問題から、保健師の常駐する保健福祉センターのみではなく、保健師のいない市役所や出張所で事務的に交付されているところもある。さらに、母子健康手帳交付時点では問題がなかったが、その後の妊娠分娩経過のなかで支援の必要性が出てくる症例が存在す

る。一方、医療機関においては、妊婦が妊婦健康診査を受診する限りにおいては少なくとも14回の面接機会が存在するため、要支援母児の抽出には医療機関の役割が大きいと考えられる。平成27年4月から、妊婦健康診査を子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業と位置付け、「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」（平成27年3月31日厚生労働省告示第226号）（母子保健法第13条第2項）により少なくとも14回の妊婦健康診査の受診および受診券による公費負担を少なくとも14回行うことを定めている。各回の妊婦健康診査においては、①健康状態の把握（妊娠月週数に応じた問診、診察等）、②検査計測、③保健指導を実施することとなっている。保健指導の内容は、妊娠中の食事や生活上の注意事項等について具体的な指導を行うとともに、妊婦の精神的な健康の保持に留意し、妊娠・出産又は育児に対する不安や悩みの解消が図られるようにすると明示されている。面接でいかに情報を引き出すかは、面接を担当する看護師、助産師、医師、保健師のスキルに大きく左右される。医療機関における要支援妊婦の抽出方法、行政機関との連携方法を構築することが必要である。

本研究の目的は、医療機関において要支援母児を有効に抽出するツールの構築および妊娠中から行政機関との連携をスムーズにするツールを開発することである。開発したツールを、全国に展開することで、妊娠期から支援の必要な妊婦を有効に抽出し、妊娠中から行政機関と共同して支援に当たることで、特に0歳、0か月の子供ども虐待、産褥期の母親の自殺や心中を減らすことができると考えられる。

## B. 研究方法

### 1. ツールの開発

- ・研究のデザイン：前向き観察研究
  - ・実施期間：倫理委員会承認後～1年
- すでにハイリスク母児の抽出、行政機関との連携を実施している施設における問診票のスコア化の検証（First Step）（具体的な流れについては「結果」に記載）と、ハイリスク母児の抽出を行っていない施設における問診票を使用した行政との連携の検証（Second step）の2つの研究を予定している。

### ■First Step

#### 【実施施設】

- ・独立行政法人 大阪母子医療センター 産科
- ・社会福祉法人 聖母会聖母病院 産婦人科
- ・昭和大学病院 産婦人科
- ・また、対象となる医療機関を受診する妊婦の居住地である行政機関。

#### 【方法】

- 1) 医療機関において、問診票と面接の内容を受けて、妊娠中から行政機関と情報共有しながら支援に当たることについての同意書を取得する。
- 2) 初期、中期、後期、産後1か月健診に問診票を渡し、面談を施行する。
  - ・ ツール①：妊娠初期用問診票＋妊娠初期チェックリスト  
施行時期：初診時（週数によらず）
  - ・ ツール②：妊娠中期用問診票＋妊娠中期チェックリスト  
施行時期：妊娠20—30週（医療機関によって既に行っている保健指導の時期に合わせて変更可能）
  - ・ ツール③：妊娠後期用問診票＋妊娠後チェックリスト  
施行時期：妊娠34—37週前後
  - ・ ツール④-1、④-2：産褥問診票＋産後チェックリスト、エジンバラ産後うつ質問

票（EPDS）

施行時期：産後1か月

- 3) 問診票、チェックリストは研究用IDで管理し、対応表は各自で保管する。問診票とチェックリストは、山梨大学に送付後、データ入力会社に郵送する。
- 4) それぞれの施設で、現行の方法を用いて行政機関に連絡する対象を抽出する。連絡した対象は、抽出した時期のチェックリスト□ありに✓を付け、その理由を記載する。
  - \*今まで通り、施設毎にカンファレンスで決めた対象について行政に連絡し支援する。連絡の時点で、行政機関には乳幼児健診の結果確認の同意が取れていることも報告し、結果の郵送を依頼する。
  - ・ ツール⑤：行政機関からの返書
- 5) そのデータを用いて項目の重みづけおよび、連絡対象の選定のカットオフを決める。
- 6) ツール①～③と④-1、④-2、①～④と⑤の比較

#### 【主要評価項目】

- ・ それぞれの施設において、現行の方法で支援対象と判断した例と、問診票・チェックリストの点数から抽出された例の比較
- ・ 医療機関から行政機関に連絡した対象について、行政機関での評価と対応および乳幼児健診の結果の照合

#### 【副次的評価項目】

- ・ 妊娠中の問診票と産後1か月健診の問診票、EPDSの比較
- ・ 妊娠・産後の医療機関から行政機関（市町村保健センター）へ連絡となった事例（対象）数

### ■Second Step

#### 【実施機関】

- ・ 浦川産婦人科
- ・ 医療法人社団 結城産婦人科医院  
上記 2 機関の対象者に対し、以下の手順で研究を実施する。なお、各機関は分担研究者が研究実施の進捗管理を行う。
- ・ 浦川産婦人科:独立行政法人 大阪母子医療センター 川口晴菜
- ・ 医療法人社団 結城産婦人科医院：東北大学：東北メディカル・メガバンク機構 菅原準一
- ・ また、対象となる医療機関を受診する妊婦の居住地である行政機関。

#### 【方法】

- 1) 医療機関において、問診票、面接の内容を受けて、妊娠中から行政機関と情報共有しながら支援にあたることについての同意書を取得する。
- 2) 医療機関において初診時、中期、後期、産後 1 か月健診の際に問診票および面談を施行する。
  - ・ ツール①：妊娠初期用問診票＋妊娠初期チェックリスト  
施行時期：初診時（週数によらず）
  - ・ ツール②：妊娠中期用問診票＋妊娠中期チェックリスト  
施行時期：妊娠 20—30 週（医療機関によって既に行っている保健指導の時期に合わせて変更可能）
  - ・ ツール③：妊娠後期用問診票＋妊娠後期チェックリスト  
施行時期：妊娠 34—37 週前後
  - ・ ツール④-1、④-2：産褥問診票＋産後チェックリスト、EPDS  
施行時期：産後 1 か月
- 3) 問診票、面談から得られる因子についてスコア化を行う。
  - 4) スコアをもとに、行政機関に連絡する対象を抽出する。
  - 5) スコア化によって抽出された対象について行政機関に介入を依頼し、その結果を確認する。行政機関からの返事は、1 週間以内の簡易の返事および介入内容やその結果が確定した後の結果報告書の 2 回とする。
    - ・ ツール⑥：医療機関からの情報提供書＋行政機関からの返書
  - 6) 行政機関での母子手帳交付時の情報から、医療機関に連絡する対象を抽出する。
    - ・ ツール⑦-1：保健センター質問紙（行政機関が独自の質問紙調査を施行している場合はそれを活用し、ない場合にはツール⑦-1 を使用）
    - ・ ツール⑦-2：保健センターチェックリスト
  - 7) 行政機関から医療機関に情報照会を行う。
    - ・ ツール⑧：行政機関からの情報提供書＋医療機関からの返書
  - 8) 乳幼児健診
    - ・ ツール⑨：乳幼児健診問診票（それぞれの行政機関で施行中のものを活用、ない場合にはツール⑨使用）

#### 【主要評価項目】

- ・ 問診票およびチェックリストによって抽出され、医療機関から行政機関に連絡した対象について、行政機関での評価と対応およびその母児の乳幼児健診の結果を照合する

#### 【副次的評価項目】

- ・ 妊娠産後の医療機関から行政機関へ連絡された症例数
- ・ 妊娠中の行政機関から医療機関へ連絡された症例数
- ・ 行政機関から連絡した症例における医療

機関での評価と対応

・

(倫理面への配慮)

あり。各実施施設で倫理委員会での審査を受ける。対象者へ書面で説明の上、書面で同意を得たもののみ調査を実施する。

## C. 研究結果

### 1. ツールの開発

「方法」に記載した。

### 2. 実施施設における説明文書と同意書の作成

先行施設での各文書を雛形に、各施設での特殊性を考慮して、作成した。

## D. 考察

First Stepを開始するにあたって、以下の3点が問題点として挙げられた。

### 1. 実施期間

妊婦健康診査初診時のリクルート期間を3か月とし、初診から、産後1か月まで追いかけるので、一人の対象を初診時が妊娠2か月、出産が10か月間として、8+1=9か月の間追跡することになる。リクルート3か月であることを加味すると合計12か月になり、さらに行政フォローになった事例では、乳幼児健診まで追跡するので、合計すると12か月+4か月程度かかることになる。

### 2. 対象者への同意の取得

研究方法の説明に時間を要するため、外来を担当するスタッフのマンパワー不足が懸念される。スタッフ間で、説明内容の統一を図ることも必要であり、説明開始の前には、地域、施設に適した説明方法を模索する必要がある。

また、乳幼児健診の結果を確認するという点

において、虐待を疑われて見張られているという感情を持たせてしまうことで同意を得にくい可能性があり、説明の際には研究趣旨を適切に伝える能力が必要であると考えられた。

同意が得られない場合には、以下の数を把握することとした。

1) 調査期間内の初診数

2) 今回の研究の同意は得られないが、各施設において現行の方法で行政機関に連絡した事例の数と、それらが支援の必要を感じた理由

全くの未受診妊婦については、妊娠中の問診票も支援も不可能であり、今回は対象から除外した。

### 3. 行政機関からの乳幼児健診の情報の取得

実施医療機関は3か所であるが、対象者の居住地は様々であり、事前に乳幼児健診の情報の開示についてすべての行政機関において調整は困難である。また、行政機関が情報の開示を拒否する可能性がある。

これらの点に関しては、乳幼児健診の結果の確認を含む同意書であり、その内容を行政機関に伝えることで、情報の開示がスムーズになるものとする。

今回の研究において、乳幼児健診の結果を確認するのは、各医療機関で行政機関に連絡し支援を行ったもののみ限定している。支援を行っていないものについても乳幼児健診の結果を確認するのが理想であるが、全数の把握は対象とする市町村が多く、欠損データが多数出ることを想定して、支援を行ったものみに留めた。

## E. 結論

様々な医療機関、行政機関でハイリスク母児

への対応は進んではいるものの、マンパワーの問題等によりまだまだ不十分な状況である。今回の研究で、医療機関における保健指導の際にハイリスク母児の抽出に利用できる問診票とチェックリストを提案し、モデルとなる医療機関、行政機関で実施する。点数化の妥当性、行政機関への連絡を要する点数について検討するし、将来的にはこのツールの全国展開を目指す。そのためには、地域ごと、医療機関の体制に合わせた変更が必要であると考えられる。したがって、モデルとなる医療機関、行政機関は複数選択し、その中には、すでにハイリスク母児の対応、行政機関との連携を行っている施設および現状不十分である施設の 2 つのパターンを設定する。最終的な目標は、開発したツールを、全国に展開し、妊娠期から支援の必要な妊婦を有効に抽出し、妊娠中から行政機関と共同して支援に当たることで、特に 0 歳、0 か月の子供虐待、産褥期の母親の自殺や心中を減らすことである。

#### 【参考文献】

- 1) 社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会:子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について (第 11 次報告)
- 2) 松田義雄. ハイリスク母児 (要支援家庭) への早期介入を目的とした妊娠中データの利活用に関する研究 平成 25-27 年度厚生労働科学研究費補助金 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業) 分担研究報告書.

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) Yoshio Matsuda, Kemal Sasaki, Kaoru

Kakinuma, Toshiyuki Kakinuma, Miki Tagawa, Ken Imai, Hiroaki Nonaka, Michitaka Ohwada, Shoji Satoh Magnitude of risk factors for the perinatal events in Japan: The introduction of a newly created perinatal event score  
J Obstet Gynaecol Res, 43(5):805-811, 2017

- 2) Sameshima, Hiroshi; Saito, Shigeru; Matsuda, Yoshio; Kamitomo, Masato; Makino, Shintaro; Ohhashi, Masanao; Kino, Emi; KANAYAMA, NAOHIRO; Takeda, Satoru Annual Report of Perinatology Committee, Japan Society of Obstetrics and Gynecology, 2016: Overall report on comprehensive retrospective study of obstetric management of preterm labor and preterm, premature rupture of membrane  
J Obstet Gynaecol Res 2017  
doi:10.1111/jog.13515
- 3) Miki Tagawa, Yoshio Matsuda, Tomoko Manaka, Makiko Kobayashi, Michitaka Ohwada, Shigeki Matsubara, MD, An Exploratory Analysis of the Textual Data from the Mother and Child Handbook Using a Text Mining Method (II): The Monthly Changes in the Words Recorded by Mothers  
J Obstet Gynaecol Res 43(1):100-105, 2017
- 4) 松田義雄. ハイリスク妊娠チェックリスト (産科合併症と関連するリスク因子リスト) の有用性に関する検証, 平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「妊婦健康診査および妊娠届を活用したハイリスク妊産婦の把握と効果的な保健指導のあり方に

- 関する研究」(主任研究者 光田信明)  
平成 28 年度 総括・分担研究報告書.  
137-144. 2017 年 3 月
- 5) 光田信明、松田義雄. 社会的リスクにおける母体および児の周産期における医学的ハイリスク評価. 平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「妊婦健康診査および妊娠届を活用したハイリスク妊産婦の把握と効果的な保健指導のあり方に関する研究」(主任研究者 光田信明). 平成 28 年度 総括・分担研究報告書. 157-161. 2017 年 3 月
- 6) 松田義雄、川口晴菜、米山万里枝. 要支援妊婦の抽出を目的とした医療機関における「問診票を用いた情報の把握」および行政機関との連携方法の開発. 平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「母子の健康改善のための母子保健情報利活用に関する研究(研究代表者山縣然太郎). 平成 28 年度 総括・分担研究報告書. 87-97. 2017 年 3 月
- 7) 松田義雄、米山万里枝. 第 57 回日本母性衛生学会学術集会シンポジウム (3) ハイリスク母児への早期介入を目的とした妊娠時から支援 座長まとめ. 母性衛生. 58 (1) : 11-15. 2017
- 8) 川口晴菜、松田義雄. なぜ今メンタルヘルスなのか? 要支援妊婦に対する妊娠初期からの対応. 周産期医学. 47 : 619-22. 2017
- 9) 三谷穰、松田義雄. 胎児機能不全 特集/回旋異常、肩甲難産、分娩時の異常に強くなる! 異常に移行させない 分娩時“先読み”ポイント&手技. ペリネイタルケア 36 (2) : 20-26. 2017
- 10) 三谷穰、松田義雄. 吸引分娩 連載 講座 産科医療補償制度に学ぶ 助産師のための妊娠・分娩マネジメント講座. ペリネイタルケア 36 (4) : 396-400. 2017
- 11) 川口晴菜、光田信明. 【周産期メンタルヘルスケアの最前線-ハイリスク妊産婦管理加算を見据えた対応をめざして】病態別の管理 子ども虐待が疑われる妊産婦への対応. 臨床婦人科産科 71 (6) 541-545. 2017
- 12) 川口晴菜. 炎症性腸疾患と妊娠・出産 周産期医学. 47 (12) 1573-1578. 2017

## 2. 学会発表

- 1) 川口晴菜、石井桂介、武藤はる香、山本亮、林周作、光田信明. 双胎妊娠における体重変化と遅発型妊娠高血圧症候群の発症との関連. 第 69 回日本産科婦人科学会. 2017 年 4 月. 広島
- 1) 川口晴菜、石井桂介、金井麻子、山本 亮、笹原 淳、金川武司、光田信明. 胎児診断された頸部腫瘍症例の周産期予後. 日本超音波医学会第 90 回学術集会. 2017 年 5 月. 宇都宮
- 2) 川口晴菜、神田昌子、稲富絢子、武藤はる香、金川武司、石井桂介、光田信明. 妊娠に気づかず、131I 内用療法治療を施行し胎児甲状腺機能亢進となった 1 例. 日本内分泌学会. 2017 年 4 月. 京都
- 3) 川口晴菜、金井麻子、石井桂介、山本亮、笹原淳、金川武司、光田信明. Ex utero intrapartum treatment (EXIT) を行った 3 症例. 第 136 回近畿産科婦人科学会学術集会. 2017 年 6 月. 大阪
- 4) 川口晴菜、稲富絢子、武藤はる香、金川武司、石井桂介、光田信明. 慢性高血圧合併妊娠における妊娠経過と母児の合併症の

頻度に関する検討. 第 53 回日本周産期・  
新生児医学会. 2017 年 7 月. 横浜

- 5) 川口晴菜、石井桂介、染谷真行、笹原 淳、  
金川武司、光田信明. 胎児仙尾部奇形腫に  
よる高心拍出性心不全を呈した児に対す  
るラジオ波凝固術の一例. 第 15 回日本胎  
児治療学会. 2017 年 11 月. 川越
- 6) 川口晴菜、金川武司、岡本陽子、和田聡子、  
光田信明. 妊娠中から支援を行うべき妊  
婦の抽出. 日本子ども虐待防止学会. 第  
23 回学術集会 ちば大会. 2017 年 12 月.  
千葉.
- 7) 川口晴菜. 妊婦健康診査における要支  
援妊産婦の抽出と支援について. 厚生労  
働科学研究費補助金 成育疾患克服等次  
世代育成基盤研究事業「妊婦健康診査お  
よび妊娠届を活用したハイリスク妊産  
婦の把握と効果的な保健指導のあり方  
に関する研究」 社会的ハイリスク妊娠  
の支援によって児童虐待・妊産婦自殺を  
防ぐ. 公開シンポジウム. 東京 2017  
年

## G. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし



ツール①：妊娠初期用問診票＋妊娠初期  
チェックリスト

妊娠初期問診票  
日付 \_\_\_\_\_ 診療券番号 \_\_\_\_\_ お名前 \_\_\_\_\_

研究 ID \_\_\_\_\_

---

きりとり

研究 ID \_\_\_\_\_

**妊娠初期用問診票**

次の [問1]～[問11] について、該当する項目の□にチェック(✓)し、[ ]には内容を記入ください。

**問1** 妊娠について、おぼんがな気分ですか。最もあてはまるもの一つを選んでください。  
嬉しい とまどっている 困っている おぼんとも思わない

**問2** 夫(パートナー)は妊娠について、どのような気持ちだと思いますか。  
 最もあてはまるもの一つを選んでください。  
喜んでくれる とまどっている 困っている おぼんとも思っていない わからない

**問3** 産後(産後1週間)「イライラする」「寂しく感じる」「関係が壊れる」などの心配がありますか。  
よくある 時々ある ほとんどない ない

**問4** 困ったときに助けられる人はいますか(はい/いいえ)ついでに教えてください。  
はい(夫(パートナー)・実母・実父・義母・義父・その他 [ ]) いいえ

**問5** 経済的な問題についてお尋ねします。  
当面困っていない 問題はあるが生活保護の利用はない 社会福祉を利用(生活保護や福祉制度)

**問6** 産後期間についてお尋ねします。  
初期 中期 後期  
産後期間する自分の子供: あり なし (同居する相手の子供: あり なし)  
未入籍 (入籍予定: あり なし)

**問7** 今までかかった病気についてお尋ねします。  
 (「ある」とお答えの場合は、( )の中で当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可))  
はい いいえ  
高血圧症・糖尿病・心疾患・腎疾患・精神的な問題(チック・うつなど)その他 [ ]

**問8** あなたは、違法薬物を使用していることがありますか?  
はい いいえ

**問9** 夫(パートナー)は、違法薬物を使用していることがありますか?  
はい いいえ

**問10** 上の子のことで心配なことはありますか。  
はい(はい/いいえ) いいえ ある [ ]

**問11** 相談したいことはありますか?  
 (「ある」とお答えの場合は、( )の中で当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可))  
はい いいえ  
自分の体のことやこと・経済的なこと・家族のこと・現在の妊娠経過について・産後の育児等について・その他 [ ]

 ここに記入の仕方を教えてください。一度記入し、いつでも変更することができます。妊娠および産後の経過に不安や心配、育児支援のために必要な情報ですので、ご記入をお願いします。  
平成29年度厚生労働科学研究費補助金(産科医療確保等推進事業(産科医療確保等推進))分科研究

妊娠初期チェックリスト  
日付 \_\_\_\_\_ 診療券番号 \_\_\_\_\_ お名前 \_\_\_\_\_

研究 ID \_\_\_\_\_

---

きりとり

研究 ID \_\_\_\_\_

**■妊娠初期チェックリスト■**

医学的問診票および保健指導から以下の情報を確認。初期に開けなかった場合は、中期の保健指導で確認。

1) 初診回数 週 (この問診票に記載した回数) 週

2) 胎児数: 単胎 多胎 (胎児数: [ ])

3) 経産回数(今回含まない) 経産: 経産:  
前回来受診 あり なし 不明  
上の子への社会的な介入(保護等) あり なし 不明  
上の子の死亡

4) 年齢: 歳

5) 人種 日本人 それ以外( 日本語不可 日本語可 )

6) 住居地: あり 不定

7) 話の要領を得る受け答えができない あり なし

8) 本人家族から受ける印象 かなり気になる 少し気になる 特に問題なさそう

[詳細: [ ]]

**◆施設独自のルールで**  
 問題ない・院内で見守り・行政機関と連携

ツール②：妊娠中期用問診票＋妊娠中期  
チェックリスト

妊娠中期問診票  
日付 \_\_\_\_\_ 診療券番号 \_\_\_\_\_ お名前 \_\_\_\_\_

研究 ID \_\_\_\_\_

---

きりとり

研究 ID \_\_\_\_\_

**妊娠中期用問診票**

次の [問1]～[問10] について、該当する項目の□にチェック(✓)し、[ ]には内容を記入ください。

**問1** マタニティライフを楽しんでいますか?  
おぼんが楽しい 体がつらい 不安や心配の方が大きい  
その他 [ ]

**問2** 赤ちゃんについて、夫(パートナー)と話し合っていますか。  
よく話す 時々話す ほとんど話さない 全く話さない

**問3** 夫(パートナー)から暴言や暴力を受けたことはありませんか?  
はい いいえ

**問4** 上の子のことで困っていることはありますか。  
はい(内容: [ ]) いいえ 上の子はい/いいえ

**問5** ご自身が子供のころ、親から大事にされていなかったり、実親虐待を受けたことはありますか?  
はい いいえ

**問6** 産後(産後1週間)「イライラする」「寂しく感じる」「関係が壊れる」などの心配がありますか?  
よくある 時々ある ほとんどない いいえ

**問7** 困ったときに助けられる人はいますか  
 (「はい」とお答えの場合は、( )の中で当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可))  
はい(夫(パートナー)・実母・実父・義母・義父・その他 [ ]) いいえ

**問8** たばこについてお尋ねします。  
産前から吸っていない 産後してやめた 産後して減らしている  
産前と変わらず吸っている  
アルコールについてお尋ねします。  
産前から飲まない 産後してやめた 産後して減らしている  
産前と変わらず吸っている

**問10** 相談したいことはありますか?  
 (「ある」とお答えの場合は、( )の中で当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可))  
はい いいえ  
自分の体のことやこと・経済的なこと・家族のこと・現在の妊娠経過について・産後の育児等について・その他 [ ]

 ここに記入の仕方を教えてください。一度記入し、いつでも変更することができます。妊娠および産後の経過に不安や心配、育児支援のために必要な情報ですので、ご記入をお願いします。  
平成29年度厚生労働科学研究費補助金(産科医療確保等推進事業(産科医療確保等推進))分科研究

妊娠中期チェックリスト  
日付 \_\_\_\_\_ 診療券番号 \_\_\_\_\_ お名前 \_\_\_\_\_

研究 ID \_\_\_\_\_

---

きりとり

研究 ID \_\_\_\_\_

**■妊娠中期チェックリスト■**

母子手帳、保健指導から以下の情報を確認。初期の分で、初期に開けなかった項目についても埋める。

0) この問診票に記載した回数 週

1) 妊娠健診検査の受診回数: 通常通り 通常より少ない ほとんど来ていない  
予約外受診回数

2) 診療費について: 滞りなく支払っている 未払いあり

3) 本人家族から受ける印象 かなり気になる 少し気になる 特に問題なさそう

[詳細: [ ]]

**◆施設独自のルールで**  
 問題ない・院内で見守り・行政機関と連携

ツール③：妊娠後期用問診票＋妊娠後期  
チェックリスト

妊娠後期用問診票

日付: \_\_\_\_\_ 診察券番号: \_\_\_\_\_ お名前: \_\_\_\_\_ 研究ID: \_\_\_\_\_

----- きりとり -----

妊娠後期用問診票 研究ID: \_\_\_\_\_

次の 問1～問6 について、該当する項目の□にチェック(✓)し [ ] に内容を記入ください。

問1 悪阻、吐き気、下痢、腰痛、頭痛、めまい、手足のしびれ、などがありますか。  
□よくある □たまにある □ほとんどない □ない

問2 上の子どもについて困っていることはありませんか。  
□上の子どもはいない □はい [ ]


問3 妊娠経過で心配なことはありませんか。  
 (「ある」とお答えの場合は、( )の中で当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可))  
 □ある (赤ちゃんのこと・自分の体のこと・自分の心のこと・家族のこと  
 その他 [ ] )  
 □ない

問4 出産後について、①～②の質問にお答えください。  
 ①産後、主に育児を手伝ってくれる人は誰ですか？(複数回答可)  
 □夫(パートナー) □実父 □実母 □義父 □義母 □その他 [ ] )  
 □格別いい

②産後について心配なことはありませんか。  
 (「ある」とお答えの場合は、( )の中で当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可))  
 □ある (育児・家事・仕事・上の子の世話・経済的なこと・自分の体のこと  
 自分への心配・子供の体のこと・その他 [ ] )  
 □ない

問5 赤ちゃん育児の準備はできましたか？  
 □大分できた □一部できた □ほとんどできていない

問6 相談したいことはありませんか？  
 (「ある」とお答えの場合は、( )の中で当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可))  
 □はい  
 □いい (自分の体の心配・経済的なこと・家族のこと・現在の妊娠経過について  
 ・産後の育児等について・その他 [ ] )  
 □いい

 ご記入いただきありがとうございます。一読せんにくい箇所もありますが、妊娠から産後の経過において、母、家族、育児を支障なくするために重要な項目ですので、ご記入をお願いします。

妊娠後期チェックリスト

日付: \_\_\_\_\_ 診察券番号: \_\_\_\_\_ お名前: \_\_\_\_\_ 研究ID: \_\_\_\_\_

----- きりとり -----

研究ID: \_\_\_\_\_

■妊娠後期チェックリスト■

0) この問診票に記載した週数 週

1) 妊婦健康診査の受診回数: □通常通り □通常より少ない □ほとんど来ていない  
 □予約外受診多数

2) 診療費の支払い □滞りなく支払っている □未払いあり

3) 妊娠経過: □胎児疾患や胎児発育不全

4) 本人家族から受ける印象 □かなり気になる □少し気になる □特に問題なさそう  
 [詳細: \_\_\_\_\_ ]

5) 産後の同居人 □子 □上の子 □誰れ子 □夫(パートナー) □実父母 □義父母 □実祖父母 □義祖父母  
 □その他 [ ] □不明

◆施設独自のルールで  
 問題ない ・ 院内で見守り ・ 行政機関と連携

ツール④-1：産後1か月健診問診票＋産後  
チェックリスト

1か月健診問診票

日付: \_\_\_\_\_ 診察券番号: \_\_\_\_\_ お名前: \_\_\_\_\_ 研究ID: \_\_\_\_\_

----- きりとり -----

1か月健診問診票 研究ID: \_\_\_\_\_

次の 問1～問8 について、該当する項目の□にチェック(✓)し [ ] に内容を記入ください。

問1 産後のあなたの体調で気になることはありませんか。(複数回答可)  
 □ある (身体的な問題・精神的な問題) □ない

問2 子育てを楽しんでいますか？  
 □楽しい □楽しいことが多い □どちらでもない □あまり楽しくない □全く楽しくない

問3 夫(パートナー)は子育てに協力してくれますか？  
 □よくやっている □時々 □ほとんどしない


問4 育児や家事の協力を依頼できる人や情報はありますか。  
 (「ある」とお答えの場合は、( )の中で当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可))  
 □はい  
 □ある (夫(パートナー)・実父母・義父母・友人・保健師・ハウスキーパー・メイド等  
 その他 [ ] )  
 □ない

問5 あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか？  
 □感じない □時々感じる □いつも感じる

問6 育児に関して相談できる相手はいますか？  
 (「はい」とお答えの場合は、( )の中で当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可))  
 □はい (夫(パートナー)・父母・兄弟・祖父母・友人・産科の医師、助産師、保健師、保健センター等の保健師・保健士等・インターネット  
 その他 [ ] )  
 □いいえ

問7 相談したいことはありませんか？  
 (「はい」とお答えの場合は、( )の中で当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可))  
 □いいえ  
 □はい (自分の体の心配・経済的なこと・家族のこと・育児のこと  
 その他 [ ] )

問8 あなたは、子育てに自信が持てなかったり、イライラしたりすることがありますか。  
 □よくある □ときどきある □ほとんどない

 ご記入いただきありがとうございます。  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 国立病院機構 産科医療センター 産後1か月健診問診票

産後チェックリスト

日付: \_\_\_\_\_ 診察券番号: \_\_\_\_\_ お名前: \_\_\_\_\_ 研究ID: \_\_\_\_\_

----- きりとり -----

研究ID: \_\_\_\_\_

■産後チェックリスト■

1) 分娩週数: □正期産 □早産  
 □生産 □死産

2) 分娩方法: □経産分娩 □予定帝王切開 □緊急帝王切開

3) 児の疾患 □あり (NICU・小児病棟への入院 □他病院へ搬送 □母児同居)  
 □なし

4) 母: 輸血 □あり □なし

5) 退院 □母児同時 □母のみ(□児の疾患・未熟性のため □養育の問題等)

◆施設独自のルールで  
 問題ない ・ 院内で見守り ・ 行政機関と連携  
 (分娩後～退院まで・2週間健診・1か月健診・その他)

ツール④-2：EPDS

エジンバラ産後うつ問診票  
日にち： \_\_\_\_\_ 診療番号： \_\_\_\_\_ お名前： \_\_\_\_\_

研究 ID \_\_\_\_\_

---

研究 ID \_\_\_\_\_

□ エジンバラ産後うつ病質問票 □

産後の気分についてお尋ねします。あなたも赤ちゃんもお元気でですか。最近のあなたの気分をチェックしてみましょう。今日だけではなく、過去7日間にあなたが感じたことに最も近い答えに○をつけてください。

1) 笑うことができたし、物事のおもしろい面もわかった。  
 いつもと同様にできた  
 あまりできなかった  
 明らかにできなかった  
 全くできなかった

2) 物事を楽しみにして待った。  
 いつもと同様にできた  
 あまりできなかった  
 明らかにできなかった  
 全くできなかった

3) 物事がうまくいかない時、自分を不必要に責めた。  
 はい、たいていそうだった  
 はい、時々そうだった  
 いいえ、あまり度々ではなかった  
 いいえ、全くなかった

4) はっきりした理由もないのに不安になったり、心配になったりした。  
 はい、そうではなかった  
 ほとんどそうではなかった  
 はい、時々あった  
 はい、しょっちゅうあった

5) はっきりした理由もないのに恐怖に襲われた。  
 はい、しょっちゅうあった  
 はい、時々あった  
 いいえ、めったになかった  
 いいえ、全くなかった

ツール⑥：医療機関からの情報提供書+  
行政機関からの返書

◆要支援妊産婦連絡票◆

病院名： \_\_\_\_\_ 保健(福祉)センター： \_\_\_\_\_  
 担当： \_\_\_\_\_ 担当： \_\_\_\_\_  
 住所： \_\_\_\_\_ 住所： \_\_\_\_\_  
 電話番号： \_\_\_\_\_ 電話番号： \_\_\_\_\_

交付日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

患者名： \_\_\_\_\_  
 患者住所： \_\_\_\_\_  
 患者連絡先： \_\_\_\_\_  
 連絡についての同意の有無：  有  無( )

情報提供に至った理由	
相談および依頼事項	

◆ 添付資料(○を付ける)  
 ・問診票コピー  
 ・チェックリストコピー  
 ・独自のツール

◆この用紙を受けとった保健機関は、支援結果または方針を簡潔に記載し、報告書①を1週間以内、報告書②を最終的な妊娠中の支援内容が決まった時点で、医療機関に返送してください。

ツール⑤：行政機関からの返書

患者様の名前： \_\_\_\_\_

1)医療機関から、連絡を受けた際に、すでに行政として把握しているケースであったか？  
 はい  
 はい(□前児や母を含めた家族が要支援・保護対象 □今回の妊娠届け出の際に把握 □その他 [ ] )

2) 行政機関からも連絡した対象であったか？  
 はい  
 はい(連絡した理由 [ ] )  
 (連絡した時期[□妊娠 \_\_\_\_\_ 週ごろ])

3)医療機関から、連絡を受けて妊娠中に行った支援内容  
 訪問  面接  電話  支援拒否  
 その他 [ ]

4)この患者様は、妊娠中から行政機関として支援する必要がある対象であったか？  
 はい  いいえ  
 その他 [ ]

5) 4)で「はい」の場合、この患者様を妊娠中から連絡を受けて支援したことで産後の支援がスムーズになったか？  
 はい  いいえ  
 その他 [ ]

6) 乳幼児健診(4か月健診)の受診の有無  
 あり  なし

7)乳幼児健診の結果、養育支援の継続が必要であったか？  
 はい  いいえ

◆要支援母児対応報告書①◆  
 \*医療機関に、1週間以内に郵送をお願いします。  
 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

保健(福祉センター)： \_\_\_\_\_ 病院名： \_\_\_\_\_  
 担当： \_\_\_\_\_ 担当： \_\_\_\_\_  
 住所： \_\_\_\_\_ 住所： \_\_\_\_\_  
 電話番号： \_\_\_\_\_ 電話番号： \_\_\_\_\_

妊婦の名前 \_\_\_\_\_

対応の有無  対応あり  このたび新しく対応開始  今後対応予定  
 対応予定なし

対応時の相談内容及び指導内容(すでに対応後の場合のみ)

家庭環境、経済的な問題等(以前から随伴のある家庭の場合のみ)

**◆要支援母児報告書②◆**

医療機関に郵送をお願いします。


年 月 日

保健(福祉センター)： 担当： 住所： 電話番号：	➔	病院名： 担当： 住所： 電話番号：
------------------------------------	---	-----------------------------

妊婦の名前	児の名前・生年月日 (出生後症例のみ)	男・女 年 月 日
住所	(自宅・実家・その他)	
電話番号		
対応方法： <input type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> 面接 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他( )		
実施回数： <input type="checkbox"/>		
実施時期：妊娠週数：( . . . 週 ) 児の月齢：( . . . か月)		
妊・産婦、保護者の状況： <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	児の状況(出生後症例のみ) 発育・発達： <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 問題あり ( . . . )	
家庭環境・家族の状況等		
対応時の相談内容及び指導内容		
今後の援助計画 <input type="checkbox"/> 妊婦中訪問・面接・電話予定 <input type="checkbox"/> 産後訪問・面接・電話予定 <input type="checkbox"/> 全戸訪問や乳幼児健診で確認 <input type="checkbox"/> 相談時対応 <input type="checkbox"/> 特別な対応の予定なし <input type="checkbox"/> その他( )		
病児への依頼事項 <input type="checkbox"/> 受診時連絡希望 <input type="checkbox"/> 未受診時連絡希望 <input type="checkbox"/> 個別カンファレンスの開催希望 <input type="checkbox"/> その他( )		
本対応結果票郵送の同意の有無 有 ・ 無		

### ツール⑦-1：保健センター質問紙

このたびは、妊娠おめでとうございます。



このアンケートは、安心して子育てができるように、妊娠中からのサポートを目指して、妊婦届け出の際に行うものです。ご回答いただきましたアンケートをもとに、保健センターの保健師が、受診されている医療機関やご本人にご連絡させていただくことがありますご了承ください。このアンケートで把握させていただいた個人情報取り扱いには十分注意いたします。ご協力をお願いします。

**\*アンケートおよび保健師からのご連絡に同意していただける場合にご記入ください。**

住所：  
名前： ( 歳 )  
電話番号：

▼該当する番号を○で囲んでください。

1) 今回、何回目の出産ですか。	①はじめて ②2回目 ③3回以上( 回 )
2) おなかの胎児の数は何人ですか。	①1人 ②2人 ③3人以上( 人 )
3) 今、妊娠何週目ですか。	週( 月 )
4) あなたは、結婚していますか。	①はい ②いいえ (入籍予定 あり ・ なし )
5) あなたはタバコを吸いますか。	①はい (本/日) ②妊娠してやめた ③いいえ
6) 夫(パートナー)、同居者はタバコを吸いますか。	①はい【喫煙者： ( )】( 本/日) ②妊娠がわかってやめた ③いいえ
7) アルコールを飲みますか。	①はい (回/週) ②妊娠してやめた ③いいえ
8) 今までかかったことのある病気や治療中の病気はありますか。	①いいえ ②はい【①高血圧 ②心疾患 ③糖尿病 ④腎疾患 ⑤ごころの病気(うつ病・パニック障害など) ⑥その他( )】
9) 妊娠が分かった時の気持ちはどうでしたか。	①うれしかった ②予想外だがうれしかった ③戸惑った ④不安に思った ⑤その他( )
10) 妊娠が分かった時、夫(パートナー)の反応はどうでしたか。	①喜んだ ②予想外だが喜んだ ③戸惑った ④不安そうだった ⑤その他( )
11) 妊娠・出産について手伝ってくれる人はいいますか。	①はい【①夫 ②実母 ③その他( )】 ④いいえ
12) 現在、困っていること、不安なこと、悩んでいることはありますか。	①なし ②あり【①妊娠・出産について ②自分の病気・身体について ③家族の病気について ④育児について ⑤夫婦や家族関係について ⑥経済的な問題 ⑦その他( )】

ご協力ありがとうございました。 平成 年 月 日

### ツール⑦-2：保健センターチェックリスト

患者名 住所 地区担当者	電話番号
--------------------	------

■保健師面談から

1) 前児、家族とのかかわりの有無 有 ・ 無

2) 話の要領を得る受け答えができない あり なし

3) 本人家族から受ける印象 かなり気になる すこし気になる 特に問題なさそう

4) 妊娠・出産に関する不安がある あり なし

5) 転居を繰り返している、居住地の確認が取れない あり なし

面談：得点 \_\_\_\_\_ 点

その他気になる事項： \_\_\_\_\_

医療機関への連絡： 有 ・ 無

ツール⑧：行政機関からの情報提供書＋  
医療機関からの返書

**◆要支援母児連絡票◆**

保健(福祉)センター： 担当：_____ 住所：_____ 電話番号：_____	➔	病院： 担当：_____ 住所：_____ 電話番号：_____
---	---	---

交付日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

患者名： \_\_\_\_\_

患者住所： \_\_\_\_\_

患者連絡先： \_\_\_\_\_

連絡についての同意の有無：  有  無 ( )

情報提供に至った理由	
相談および依頼事項	

◆この用紙を受けとった医療機関は、支援結果または方針を簡潔に記載し、1 か月以内に、保健機関に返送してください。

**◆要支援妊産婦対応結果票◆**

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

病院名：_____ 担当：_____ 住所：_____ 電話番号：_____	➔	保健(福祉)センター： 担当：_____ 住所：_____ 電話番号：_____
---	---	---

妊婦の名前	妊婦週数	週 _____ 日 _____
住 所	〒 _____ (自宅・実家・その他 _____)	
妊婦健診の受診状況		
受診時の様子		
医療機関で把握している社会的な問題		
今後の援助計画		
<input type="checkbox"/> 保健指導 <input type="checkbox"/> ケースワーカー等の介入 <input type="checkbox"/> 保健機関との個別カンファレンス <input type="checkbox"/> 特に対応予定なし		
本対応結果票郵送の同意の有無    有    ・    無		

ツール⑨：乳幼児健診問診票

**乳幼児健診問診票**

お名前(母) \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_

次の [ 問1 ] ~ [ 問11 ] について、該当する項目の口をチェックし、( ) には内容をご記入ください。

**問1** 産後のお母さんの体調で気になることはありますか。  
 ある ( )  ない

**問2** 産後のお母さんの気持ちに最も近いものはどれですか。  
うれしい    不安    イライラする    悲しい    その他( )

**問3** あなたが困っている時に、育児や家事の協力をお願いできる人や機関はありますか。(複数回答可)  
 ある【配偶者・実家(父母)・友人・一時保育・その他( )】  
 ない

**問4** 年齢の近いお子さんやその保護者同士の交流はありますか。  
はい【近所の友達・保育園・園庭開放・子育てサークル・他( )】  
いいえ

**問5** あなたは、お子さんに対して、育てにくさを感じていますか  
感じない    時々感じる    いつも感じる

**問6** 育てにくさを感じた時の相談先や、解決する方法を知っていますか。(複数回答可)  
はい【配偶者・実家(父母)・友人・かかりつけ医・保健(福祉)センター・保育園や幼稚園等  
 インターネット・その他( )】  
いいえ

**問7** お子さんのお父さんは、育児をしていますか。  
よくやっている    時々    ほとんどしない

**問8** あなたは、子育てに自信が持てなかったり、イライラしたりすることがありますか。  
よくある    ときどきある    ほとんどない

**問9** 何か不安なことがありますか。  
はい【子育て・仕事・家事・経済・家族・その他( )】  
ない

**問10** 育児は楽しいですか？  
楽しい    楽しいことが多い    どちらともいえない    あんまり楽しくない    全く楽しくない

**問11** この数ヶ月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。当てはまるものすべてに○をつけてください。  
しつけのし過ぎがあった    感情的に叫びた    乳幼児だけを家に残して外出した  
長時間食事を与えなかった    感情的な言葉で怒鳴った    子どもの口をふさいだ  
子どもを激しく揺さぶった    いじりも該当しない

**問12**赤ちゃんが、どうしても泣き止まない時などに、赤ちゃんの顔を前後にガクガクするほど激しく揺さぶることによって、脳障害が起きること(乳幼児揺さぶられ症候群)を知っていますか。  
はい    いいえ

ご記入いただき、ありがとうございました。